

組合設立30周年

記念感謝祭を開催

ACTIVE KUMIAI



挨拶する武田理事長

山梨県食品工業団地協同組合(武田信彦理事長)は、10月6日(日)、甲府市下曽根町のよつちゃん食品工業(株)敷地内で組合設立30周年記念感謝祭を開催し、約1,470人の来場者で賑わった。開会式には、山梨県知事代理高根産業労働部理事、宮島甲府市長、本会内藤会長の他、多くの来賓が出席した。



餅つき大会

同組合は、昭和58年に食品製造業者及び関連業者13名により設立され、高度化資金を活用して食品工業団地を建設し操業を開始した。以来、各種共同事業へ積極的に取り組み、組合を築き上げてきた。この間、バブルの崩壊、食品の安心・安全問題など様々な難局を乗り越え、今日まで健全経営を続け、県下有数の財政基盤を誇っている。

感謝祭は、地域住民、従業員に30年分の感謝を込めて開催され、各社製品の奉仕価格での販売、屋台での飲食のほか、「金魚すくい」「鯉釣り」などのゲームが行われ、ステージでは、餅つき大会、当地ヒーロー「サクライザー」のショーや地元シンガー・サノケン等のライブ、更にホリプロお笑いライブが行われ、拍手や歓声で湧き上がっていた。祭りの最後を飾ったのが「大抽選会」で、10等から抽選を行っていくと、会場は徐々に盛り上がりはじめ2等「LED32型テレビ」、1等の「サッポロペア宿泊券」の発表で熱気も最高潮に達し、大勢の人々で賑わい祭りの幕を閉じた。



サクライザーショー